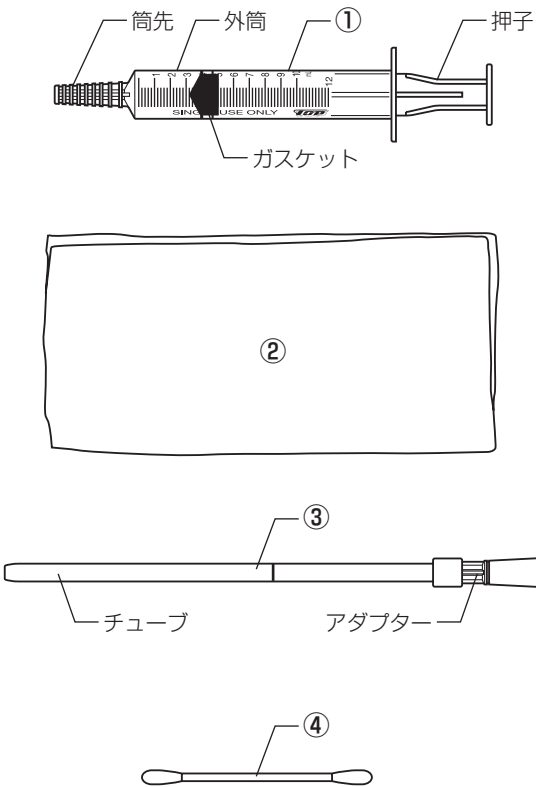
機械器具（48）注射筒
一般医療機器　汎用注射筒　JMDN 13929001

経鼻的胃内視鏡前処置キット

再使用禁止

【禁忌・禁止】
・再使用禁止

【形状、構造及び原理等】
＜構造図（代表図）＞

＜構成＞

①	トップ プラスチックシリンジ カテーテルチップタイプ
②	裁断ガーゼ
③	経鼻内視鏡用チューブ
④	綿棒

★本品は、上記の構成品のうち、二品目以上の構成品を組合せて構成される。また、構成品は１つの組合せで複数使用する場合がある。

①トップ プラスチックシリンジ カテーテルチップタイプ
（材質）

外筒、押子	ポリプロピレン
ガスケット	ブタジエンゴム

②裁断ガーゼ
・③に表面麻酔剤を塗布する際、及び鼻腔から③を抜き去った際に③を包み込む為に使用する。

③経鼻内視鏡用チューブ
・本品には、先端より10cmの位置にマークを施してある。
・本品はポリ塩化ビニル（可塑剤：フタル酸ジ（２－エチルヘキシル））を使用している。

（材質）

チューブ	ポリ塩化ビニル
アダプター	ポリ塩化ビニル

サイズ	カラー
12F（4.0mm）	ホワイト
14F（4.6mm）	グリーン
16F（5.3mm）	オレンジ
18F（6.0mm）	レッド

④綿棒
・③を鼻腔から抜き去った後、鼻腔入口を清掃する為に使用する。

【使用目的、効能又は効果】
・本品は、経鼻的胃内視鏡検査の前処置に必要な医療機器を組合せたものである。

【操作方法又は使用方法等】
１．患者の通りの良い方の鼻に、プラスチックシリンジを使用して経口表面麻酔剤をゆっくりと注入する。麻酔剤が患者の咽頭まで達したら飲み込んで貰う。
２．チューブに粘滑・表面麻酔剤をガーゼで薄く塗り、その上から噴霧式表面麻酔剤をスプレーする。
３．１．で選んだ鼻に２．のチューブを顔面に対し垂直に、マークの位置まで挿入する。但し、経鼻内視鏡用チューブが２本ある場合は細いものを先に挿入し、約１分後に太いものと交換する。
４．チューブを抜き取り、綿棒で鼻腔に余分に付着した麻酔剤を拭き取る。

＜使用方法に関連する使用上の注意＞
○経鼻内視鏡用チューブ
・鼻腔挿入以外の目的に使用しないこと。
・使用前に、滅菌蒸留水等で通水を確認すること。
・鼻腔への挿入時に困難を認めた場合には、無理な挿入は止めること。[粘膜損傷のおそれがある。]

○トップ プラスチックシリンジ カテーテルチップタイプ
・低温下の衝撃で破損するおそれがあるため、冷所保存する際は取り扱いに注意すること。
・接続部に薬液が付着すると、接続部にゆるみ等が生じる場合があるので注意すること。

【使用上の注意】

＜重要な基本的注意＞

・包装が破損しているものや、汚れているもの、製品そのものに異常が見られるものは使用しないこと。

・包装を開封したらすぐ使用し、使用後は感染防止に留意し安全な方法で処分すること。

・本品と同時に他の製品を使用する場合は、製品の添付文書又は取扱説明書を必ず読み、その指示を熟知し使用すること。

＜相互作用(医薬品との併用注意)＞

・経鼻内視鏡用チューブは薬品・薬液等によっては膨張したり、浸透したり、想定外の現象が発生する場合があるので、薬品・薬液等の添付文書又は取扱説明書をよく確認して使用すること。

＜不具合・有害事象＞

・本品の使用に際して、以下のような不具合・有害事象の可能性がある。

１．不具合

・チューブの破損（折れ、つぶれ、ねじれ、破断）

・綿棒の破損（折れ、破断）

・接続部からの洩れ

２．有害事象

・出血

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

＜貯蔵・保管方法＞

・水ぬれに注意して保管すること。高温又は湿度の高い場所や、直射日光の当たる場所には保管しないこと。

＜使用の期限＞

・内箱の使用期限欄を参照のこと。

（自己認証により設定）

【包装】

10セット／箱

【製造販売業者及び製造業者等の氏名又は名称及び住所等】

製造販売業者　株式会社トップ（添付文書の請求先）

〒120-0035　東京都足立区千住中居町19番10号

TEL 03-3882-3101

製造業者　株式会社トップ

4100-1